

令和 7 年度 武蔵野市環境啓発施設運営会議（第 1 回）議事要録

- 1 日時 令和 7 年 5 月 15 日（木）午前 11 時～12 時
- 2 場所 むさしのエコ re ゾート
- 3 出席者 藤原委員、中西委員、木村委員、村井委員、野村委員、関口委員

4 議事要録

(1) はじめに

（事務局より資料 1 から資料 3 について説明）

- ・委員の自己紹介、運営会議設置要綱、議事録及び傍聴について確認した。

(2) 令和 7 年度の事業予定について

（事務局より令和 7 年度の事業予定及び令和 7 年度運営会議のスケジュールを説明）

- ・ 3 月に開催された「ゆる SDGs フェスティバル」の評価と今後の見通しはどうか。

⇒(事務局) 近隣市にある私立学校による企画で、市内の学校による出展や市民一般が来場できる形で開催され、2 日間で 3,800 人程度が来館した。6 か月前に市が開催した Youth エコフォーラム 2024 で市内外の学校間の連携が生まれ開催された。また、市内公立学校の総合学習や探求担当者へも周知しており、今後は、連携が進み学生による環境啓発活動の場となることを期待している。

- ・公私も市内外も関係なく、興味のある学生が集まれるような場とするために、専門性の高い私立の先生に関わってもらえたら良い。また都立高校にも関りが持てたらよい。

- ・施設の運営について、ディレクターの廃止や、入れ替わりも多く、経験の浅いコーディネーターによる企画運営に影響はあるか。

⇒(事務局) 年間約 10 万人が来館するようになり、環境啓発を広く展開する基礎ができたと感じている。引き続き多様な主体に寄り添い、環境啓発活動を広く支援していくものと考えている。そのためにどのように専門性を高めていくかは課題である。

- ・指定管理ではなく市が管理しているので、各環境分野について、専門性の高い部署などと連携して市直営の強みを活かした運営の形につなげてほしい。

- ・閉館時間が午後 5 時なので、学生が来館しにくい。土日を活用して学生が使えるようにすることや、週 1 回程度は学生のイベントをするなど工夫してほしい。

⇒(事務局) 開館時間の延長は難しい。状況に応じ中高生向けに何ができるか考えたい。

- ・連携について、メーリングリストなどはあるか。また情報公開の仕方について、一方的な開示ではなく、相互リンクなどで情報共有ができれば連携強化につながると思う。

⇒(事務局) メーリングリストは連携会議の団体等に月 1 回程度実施している。メンバーの拡大やホームページについても検討したい。

- ・緑のカーテンのように継続により参加者が増えていくプログラムができるとよい。

以上